

2022年1月 新型コロナウイルスに関する生活者調査

1月の「生活自由度」は61.4点で、高い水準を維持。
感染者は増加傾向ながら、「不安」も「行動の抑制」もゆるむ

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2022年1月、新型コロナウイルスが流行している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施しました(調査期間は1月4〜7日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20〜69歳の男女1,500名。調査概要は4ページ参照)。

【調査前の状況】欧米など海外で感染者増が続く中、国内では12月の感染者数は低い水準で推移。クリスマス・帰省・初売りなど年末年始の人の移動は昨年比で大きく増えたとの報道がみられました。一方、水際対策で抑えていた変異株「オミクロン株」は、12月下旬には沖縄、大阪、東京をはじめ市中感染が確認され、全国に拡大しはじめました。新規感染者数は12月最終週から増加に転じ、調査開始の1月4日時点で全国で1日1千人超、東京では150人超(およそ21年10月初旬の水準)となった状況での調査です。

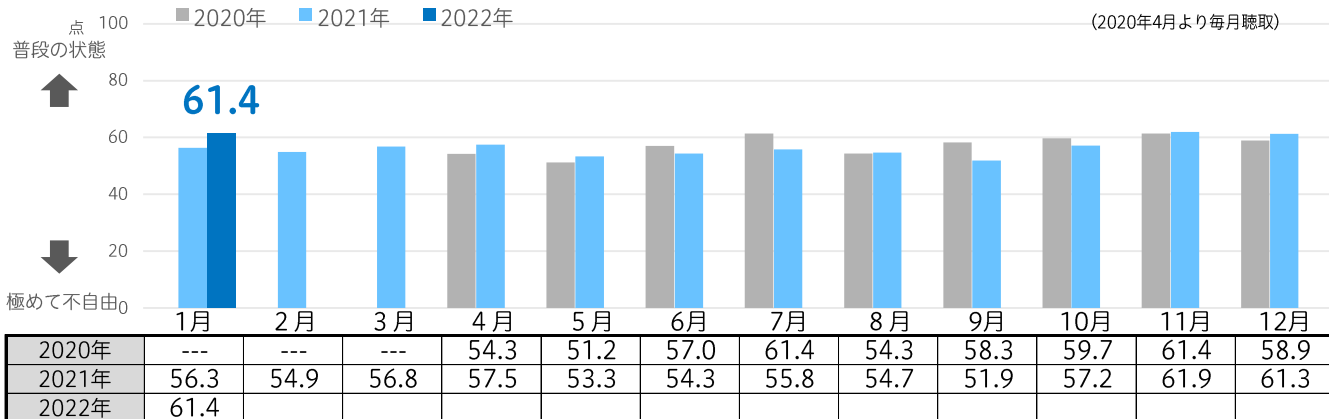
新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

2022年1月は、61.4点

前月差
+0.1pt

前年同月差
+5.0pt

暮らしの自由度について感染拡大以前の普段の状態を100点とすると、現在は何点くらいかをきいたところ、2022年1月は61.4点となりました。先月からは0.1ptの微増で、60点台は11月から3か月連続となっています。前年同月との比較でも5.0pt上回っています。



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】はすべての項目で前月より減少。「情報の不足や不確かさ」(56.1%、8.0pt減)、「海外の情勢」(64.1%、6.7pt減)、「行政の対応」(64.6%、6.4pt減)が目立ちます。【行動の抑制度】もほとんどの項目で減少。「外食」(62.1%、3.4pt減)、「交友・交際」(67.5%、3.0pt減)など。【行動の実施度】もほとんどの項目で減少。「ストリーミングサービスの利用」(45.3%、4.1pt減)、「副業」(26.8%、4.0pt減)、「人が密集しない屋外でのレジャー」(40.3%、3.8pt減)などとなっています。

		回答率 「あてはまる」「ややあてはまる」の計	前月差	前年同月差
【不安度】 感じている不安	情報の不足や不確かさ	56.1%	- 8.0pt	- 16.2pt
	海外の情勢	64.1%	- 6.7pt	- 8.3pt
	行政の対応	64.6%	- 6.4pt	- 16.7pt
【行動の抑制度】 控えている行動	外食	62.1%	- 3.4pt	- 13.6pt
	交友・交際	67.5%	- 3.0pt	- 14.6pt
	不要不急の買い物	60.2%	- 1.9pt	- 16.4pt
【行動の実施度】 行っている行動	ストリーミングサービスの利用	45.3%	- 4.1pt	- 1.5pt
	副業	26.8%	- 4.0pt	- 2.3pt
	人が密集しない屋外でのレジャー	40.3%	- 3.8pt	- 0.4pt

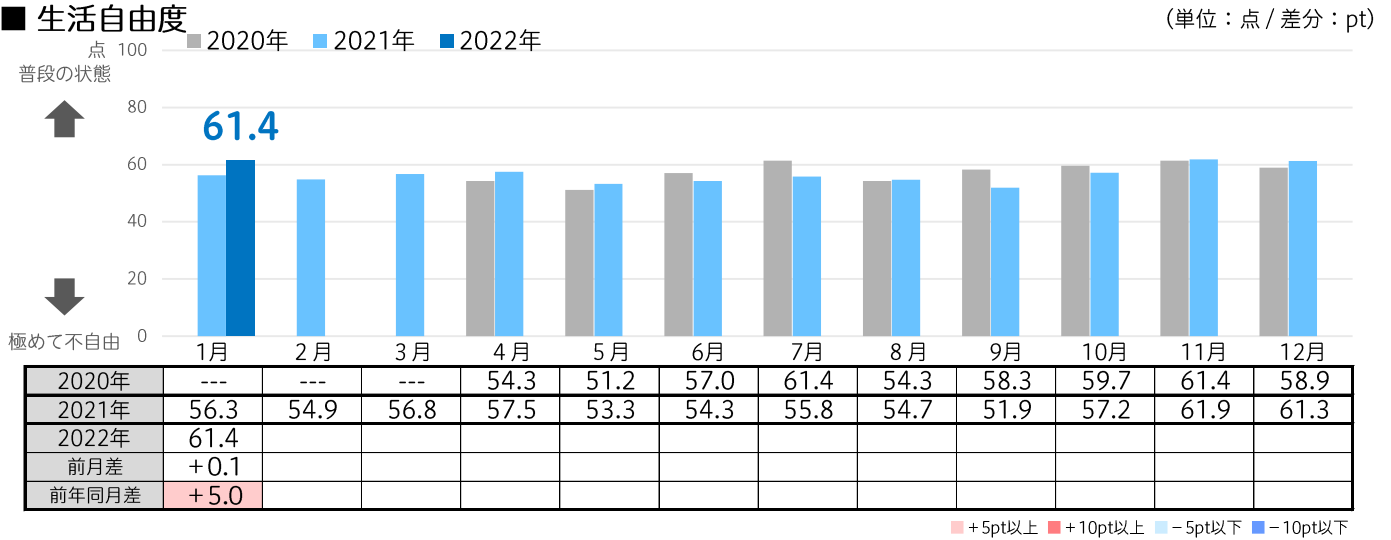
新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

1月の「生活自由度」は先月とほぼ同じ高さを維持。昨年末から感染者数が急増する中、「不安」も「行動の抑制」もゆるむ
12月、下旬までは新規感染者、重症者数とも極めて低く推移。一方、水際対策で抑えていた「オミクロン株」が、12月下旬には沖縄、大阪、東京ほかで市中感染が確認され全国に広がりはじめました。クリスマスから年末年始の生活者の移動は大きく増加したとの報道があります。12月最終週から感染者数が増加に転じはじめた段階で行った今回の調査(1月4日から)では、生活自由度は維持、「不安」も「行動の抑制」もゆるむ結果でした。

回答理由には、コロナ禍がもたらした生活体験への評価や、慣れも含め感染対策をふまえた生活行動の拡大がみられる
生活自由度の高い人からは、不自由を伴いつつも、「いかに生活を充実させるか」に考え方をええたり、新たに得た時間や、「人生でなかなかできない」得難い体験を評価し、総合的にプラスという声が挙げられます。「コロナ対策、ワクチン、飲み薬」の進展で「未来が明るい」という声もあります。

生活自由度が中程度の人からは、「不自由にも慣れてきた」「コロナとの付き合い方がわかってきた」との声に加えて、「バイトを始められた」「帰省で県外へ行くようになった」など、徐々に行動を広げられていることを挙げる人が目立ちます。

生活自由度が低い人からは、感染不安に加え職業や収入への影響が重なっていたり、子どもや親への心配など、複数の不安を抱える人の声が挙げられます。そこに「(感染が)少し落ち着いていたが、オミクロン株の流行でまた不自由を感じる」など、変異株への不安が加わっているようです。



生活自由度の理由(一部抜粋)

高 (61点以上)	仕事をやめて収入は激減したが、自由な時間が莫大に増えた。精神的にも娯楽に費やせる時間が増え、笑う時間や感動的なものを見る時間を取ることができるようになった。手芸の創作にあてる時間も作れる。身体的には、肥満だった体の減量に成功し、糖尿の症状も今や気にならない。感染拡大前と比べればトータルでみて、はるかに充実している。	100点	38歳男性・埼玉県
	感染拡大以前とは楽しみやできることが異なるが、感染が拡大しなければできなかったこともあるから。	90点	28歳女性・愛知県
	コロナが始まった2年前は不自由な毎日に落ち込んでいたが、この生活が徐々に普通になり、その中でいかに充実していくかを考えるようになってきているから。	75点	59歳女性・神奈川県
	コロナ対策、ワクチン、飲み薬が使用されることで、未来が明るくなってきたから。	70点	45歳男性・大阪府
	不便もあるけれど、ゆっくりと時間を過ごせたり、当たり前と感じていたことのありがたさがわかったりと、悪いことばかりではない。人生を生きていく上でなかなかできない経験をできたと思うから。	70点	49歳女性・大阪府
中 (41～60点)	もう1年以上になったので、少し諦め気分になっている。不自由な状態にも慣れたし、感染対策をすることで、少しは不自由さはなくなった。	60点	51歳女性・千葉県
	去年と比較し、コロナとの付き合い方がわかったので、だいぶ元の生活に近づいてきた。	60点	39歳男性・大阪府
	デルタ株までのコロナは落ち着いて、今までと同じ日常を感じていたが、オミクロン株でまた生活がやや不自由になりそうだから。	60点	55歳女性・大阪府
	学校はいまだにオンラインではあるが、バイトなどは始めることが出来て、友達もできたから。	50点	20歳女性・東京都
	外食やレジャーはまだ避けているが、帰省で年に数回は県外に行くなど、若干ふだんの状態を取り戻しつつあるから。	50点	28歳女性・愛知県
低 (40点以下)	プライベートで友人との接触が減った。一方、職場は在宅勤務ができない職種で、感染対策意識の低い人との接触も多い。低所得には当てはまらないため十分な支援もなく、ストレスのみが溜まる一方である。	40点	29歳女性・大阪府
	少し前は感染も落ち着いてきていたので、学校行事や旅行も例年通りになるかと思ったが、オミクロン株が流行ってきていて、今はまた不自由を感じる。	40点	47歳女性・愛知県
	家にはおばあちゃんもいるので、感染したら命に関わってきますし、主人は東京で勤務しているので、自分がなっているかもしれないと思うと人と会うこともできません。	30点	53歳女性・千葉県
	まだ学校の行事などは戻らず、子どもたちは我慢していることばかりで本当にかわいそうに思う。	20点	38歳男性・岐阜県
	システム開発の企業に就職したが、新型コロナウイルスの影響で現場にほとんど行くことができず、行けたとしても自宅から非常に遠い現場に行くことになり、最終的に退職した。現在は業務委託で働いているが、仕事が少ないので異業種も含めた就職を検討している。経済面と精神面で苦しい状況が続いているので、10点としました。	10点	24歳男性・東京都

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態]と収束後の行動[予想]

【不安度】はすべての項目で前月より減少

前月比較では、「情報の不足や不確かさ」(56.1%、8.0pt減)、「海外の情勢」(64.1%、6.7pt減少)、「行政の対応」(64.6%、6.4pt減)が目立ちます。
前年同月比較でも、すべての項目で減少。「行政の対応」(64.6%、16.7pt減)、「情報の不足や不確かさ」(56.1%、16.2pt減)が目立ちます。

【行動の抑制度】も、ほとんどの項目で前月より減少

前月比較では、「外食」(62.1%、3.4pt減)、「交友・交際」(67.5%、3.0pt減)など。
前年同月比較では、全項目で減少。「不要不急の買い物」(60.2%、16.4pt減)、「体験型エンタメ」(66.4%、14.9pt減)など、2ケタ減少した項目が多数。

【行動の実施度】もほとんどの項目で前月より減少

「ストーリーミングサービスの利用」(45.3%、4.1pt減)、「副業」(26.8%、4.0pt減)、「人が密集しない屋外でのレジャー」(40.3%、3.8pt減)など。
収束後に取り組むと思う行動[予想]…[実態]より[予想]が高いのは、「人が密集しない屋外でのレジャー」(+12.0pt)、「投資や資産運用」(+10.8pt)、「自分で料理する」(+10.1pt)、「SNSの閲覧・投稿」(+10.0pt)など。

■ 生活意識・行動

【不安度】

	[実態] 感じている不安				
	21年11月	21年12月	22年1月	前月差	前年同月差
経済の停滞	72.2	74.5	68.7	-5.8	-14.2
自分や家族の健康	64.4	66.9	66.5	-0.4	-7.5
行政の対応	65.3	71.0	64.6	-6.4	-16.7
海外の情勢	59.8	70.8	64.1	-6.7	-8.3
自分や家族の仕事・収入	57.9	57.3	56.4	-0.9	-5.9
情報の不足や不確かさ	57.4	64.1	56.1	-8.0	-16.2
人づきあいの変化	41.0	43.1	40.5	-2.6	-7.3

(単位：％ / 差分：pt)

【行動の抑制度】

	[実態] 控えている行動					[予想] 収束後に控えると思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	21年11月	21年12月	22年1月	前月差	前年同月差	21年11月	21年12月	22年1月	前月差	前年同月差	
人とのボディタッチ（握手やハグなど）	76.9	74.7	74.4	-0.3	-8.0	67.9	66.3	62.7	-3.6	-1.2	-11.7
旅行・レジャー	75.9	73.5	73.5	±0.0	-13.2	53.5	51.9	50.7	-1.2	-3.4	-22.8
不要不急の外出	71.7	69.9	69.5	-0.4	-13.9	61.8	59.1	57.3	-1.8	-1.2	-12.2
交友・交際	69.9	70.5	67.5	-3.0	-14.6	53.3	52.9	51.1	-1.8	-3.2	-16.4
体験型エンタメ（ライブ・観劇・映画鑑賞など）	70.1	67.6	66.4	-1.2	-14.9	54.5	51.7	50.2	-1.5	-4.1	-16.2
外食	67.8	65.5	62.1	-3.4	-13.6	52.8	51.0	49.0	-2.0	-3.5	-13.1
不要不急の買い物	64.3	62.1	60.2	-1.9	-16.4	56.9	55.7	54.1	-1.6	-3.6	-6.1

【行動の実施度】

	[実態] 取り組んでいる行動					[予想] 収束後に取り組むと思う行動					予想と実態の差 (最新月)
	21年11月	21年12月	22年1月	前月差	前年同月差	21年11月	21年12月	22年1月	前月差	前年同月差	
感染対策の徹底（マスク着用や手洗いなど）	91.3	91.2	89.7	-1.5	-3.4	86.5	84.9	82.9	-2.0	-0.8	-6.8
十分な運動・栄養・睡眠	75.2	75.7	73.9	-1.8	-3.5	84.6	82.0	81.9	-0.1	-2.5	+8.0
感染対策商品や日用品の備蓄	68.9	67.8	66.0	-1.8	-3.9	71.3	67.9	69.7	+1.8	-1.7	+3.7
キャッシュレスでの支払い	63.4	61.0	63.3	+2.3	-0.2	67.0	66.4	68.0	+1.6	+0.5	+4.7
家の中でできる娯楽	63.1	64.1	61.0	-3.1	-12.8	57.7	56.4	55.6	-0.8	-3.9	-5.4
混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	61.5	58.1	56.7	-1.4	---	58.7	56.1	55.8	-0.3	---	-0.9
感染対策を徹底している店や施設の利用	58.6	56.9	55.2	-1.7	---	61.4	58.3	57.8	-0.5	---	+2.6
自分で料理する	55.0	52.9	51.6	-1.3	-4.7	63.8	61.2	61.7	+0.5	-2.6	+10.1
自家用車での移動	47.0	47.1	47.1	±0.0	-5.8	45.9	47.5	46.7	-0.8	-2.2	-0.4
ストーリーミングサービスの利用（動画や音楽など）	47.1	49.4	45.3	-4.1	-1.5	49.9	50.5	50.9	+0.4	+1.7	+5.6
スマホやパソコンなどでのゲーム	47.2	46.5	43.2	-3.3	-5.8	48.1	47.9	47.0	-0.9	-1.1	+3.8
家の中でできる運動	41.9	45.0	41.5	-3.5	-2.4	51.7	50.8	49.8	-1.0	-2.6	+8.3
人が密集しない屋外でのレジャー	44.2	44.1	40.3	-3.8	-0.4	54.9	52.9	52.3	-0.6	-0.1	+12.0
インターネット通販や出前の利用	42.3	41.0	40.0	-1.0	-7.4	43.1	42.4	45.7	+3.3	+1.5	+5.7
SNSの閲覧・投稿	40.7	41.3	38.8	-2.5	-0.9	51.2	48.9	48.8	-0.1	+2.0	+10.0
人が密集しない屋外での運動	42.1	40.9	37.5	-3.4	-3.0	48.9	49.7	46.7	-3.0	-1.0	+9.2
時差通勤・時差通学	33.8	35.7	35.1	-0.6	-1.6	40.5	38.8	39.8	+1.0	+1.8	+4.7
家の環境充実（通信環境整備や家電購入など）	30.9	33.7	31.3	-2.4	+2.4	39.6	41.3	40.9	-0.4	+2.8	+9.6
テレワーク ※有職者ベース	28.2	30.6	29.7	-0.9	+2.1	31.3	31.1	30.9	-0.2	+0.4	+1.2
普段より少し良いものを買う	28.2	28.6	28.4	-0.2	+2.1	32.9	33.7	34.2	+0.5	+3.3	+5.8
投資や資産運用	28.4	30.4	27.3	-3.1	+3.7	37.0	38.4	38.1	-0.3	+3.4	+10.8
副業（検討含む）	31.1	30.8	26.8	-4.0	-2.3	32.1	31.7	31.7	±0.0	-1.0	+4.9
モノを手作りする（手芸、リフォーム、DIYなど）	25.3	25.9	25.5	-0.4	-0.8	34.0	32.9	33.9	+1.0	-0.1	+8.4
フリマアプリ・ネットオークションでの出品・販売	26.1	24.5	22.9	-1.6	+0.1	29.1	28.5	28.8	+0.3	+1.3	+5.9
フリマアプリ・ネットオークションでの購入	24.9	25.1	22.5	-2.6	+1.4	30.2	29.9	30.0	+0.1	+1.6	+7.5
就職・転職・起業（検討含む）	24.9	25.7	22.5	-3.2	-0.6	27.7	27.9	27.9	±0.0	+0.2	+5.4
お店・団体の支援	19.8	20.5	19.1	-1.4	+1.2	24.5	22.5	24.2	+1.7	+1.2	+5.1
オンライン学習	17.5	19.4	17.9	-1.5	+1.3	23.9	23.7	24.5	+0.8	-0.3	+6.6
転居やリフォーム、複数拠点での生活（検討含む）	17.8	18.4	16.8	-1.6	---	23.4	22.6	22.5	-0.1	---	+5.7
オンラインでの飲み会・食事会	17.5	19.3	16.7	-2.6	-1.0	19.5	20.0	19.9	-0.1	+1.2	+3.2

■ +5pt以上 ■ +10pt以上 ■ -5pt以下 ■ -10pt以下

新型コロナウイルスに関する生活者調査 調査概要

質問項目(質問文)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、

感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、

あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0~100点の数値を回答)

また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態] ※一部、有職者ベースを含む

新型コロナウイルスの流行に関連して、次のような意見があります。

それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。

(単一回答：あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

[※有職者]

2022年 1月 :1,063人

2021年12月 :1,034人

2021年11月 :1,104人

新型コロナウイルス収束後の行動[予想] ※一部、有職者ベースを含む

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次に挙げるような行動をしたいと思いますか。

それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。

(単一回答：すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

調査地域 ①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県)

②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県)

③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)

調査対象者 20~69歳の男女

対象者割付 調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付

調査人数 合計1,500人

<2020年4月~2021年3月>

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1,500

<2021年4月~>

(単位：人)

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	143	187	169	136	757
女性	118	139	183	164	139	743
合計	240	282	370	333	275	1,500

調査方法 インターネット調査

調査時期 2022年1月4日(火)~7日(金)(2020年3月から調査開始/毎月上旬に調査実施)

企画分析 博報堂生活総合研究所

実施集計 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(参考)調査期間中の社会の主な動き ※感染者数の出典：関連ホームページ(厚生労働省、東京都 それぞれ1月20日時点)

<2020年>

- 4月 7都道府県で「緊急事態宣言」が発出(5/6まで)
緊急事態宣言を全国に拡大
- 5月 緊急事態宣言が解除(39県、後に大阪・兵庫・京都)
1都3県含む47都道府県すべてで解除
- 6月 東京で警戒情報「東京アラート」が発動
- 9月 東京でGoToトラベルの予約開始
- 10月 GoToイートの予約開始
- 11月 GoToトラベルの一時停止を首相表明
東京や大阪を含め10都道府県でGoToイート中断
- 12月 GoToトラベルが一時的に中止(東京、後に全国)

<2021年>

- 1月 緊急事態宣言が再発出(1都3県、後11都府県に拡大)
- 2月 緊急事態宣言、3月7日まで延長が決定
- 3月 大阪・兵庫・京都で同宣言解除、3/21に1都3県解除
- 4月 まん延防止等重点措置の適用が順次拡大
緊急事態宣言、東京・大阪・兵庫・京都に、3度目の発出
- 5月 緊急事態宣言の継続、拡大、延長(愛知・福岡追加)
高齢者へのワクチン接種進む
大規模接種センター開設(東京・大阪)
- 6月 緊急事態宣言、沖縄を除き解除
7都道府県はまん延防止等重点措置へ移行、3県は継続

<2021年>

- 7月 緊急事態宣言、東京に4度目の発出後、首都圏3県と大阪に拡大
東京五輪開幕 まん延防止等重点措置も北海道・石川・京都・兵庫・福岡に適用
- 8月 新規感染者が全国2万5千人超、東京で5千人超を記録
緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)、9月末まで延長
東京パラリンピック開幕
- 9月 新規感染者の減少 月初の2万人台が中旬には6千人規模に、下旬には千人を下回る日も
重症者の減少 初旬2千人超で過去最多を更新後、減少を続け月末には千人を下回る
ワクチンの2回接種者が全人口の5割を超える
- 緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)が全面解除(9/30)
都は感染警戒レベル1段下げ(9/30)
- 10月 新規感染者数が100人以下、東京では一桁になるなど減少傾向が続く
- 11月 大規模イベントの上限制限撤廃 1都3県と大阪で飲食店への自粛要請の緩和
欧米での感染者急増の報道 11月末、新変異株「オミクロン株」国内初確認

[今回の調査時点までの詳細]

- 12月 下旬までは、国内の新規感染者数の減少傾向が続く
- 12月中旬 オミクロン株が欧米中心に世界で感染拡大の報道
- 12月22日 オミクロン株、大阪で初の市中感染を確認
- 12月24日 オミクロン株、東京でも市中感染を確認
- 12月中~下旬 沖縄ほか岩国など米軍基地関係者の感染拡大報道が相次ぐ

<2022年>

- 1月3日 百貨店初売り好調、布袋復活の報道
新規感染者数、東京で103人と100人超 全国計では781人
- 1月4日 東京151人、大阪136人、広島89人ほか、感染者急増 全国計では1091人で千人超
沖縄県、「まん延防止等重点措置」要請検討

<備考>

・本調査は当面実施し、毎月第3~4週頃に発表予定です(今後の状況変化により、調査内容などを変更する可能性があります)。

・過去のニュースリリース(2020年4月発表開始)は、以下のURLからご覧いただけます。

<https://seikatsusoken.jp/newsrelease>

問い合わせ先 博報堂生活総合研究所(佐香・三矢) 03-6441-6450 seikatsusoken.info@hakuhoodo.co.jp

株式会社博報堂 広報室(玉・大野) 03-6441-6161 koho.mail@hakuhoodo.co.jp